



Special Olympics
Nippon / Aichi

**2009年
6月号**

スペシャルオリンピックス日本・愛知ニュースレター

スペシャルオリンピックス活動には世界150以上の国で、
120万人のアスリート、
75万人のボランティアが参加しています。

今月の内容

最近の動き(水泳報告) 2P

最近の動き(競技会報告) 3p

事務局からのお知らせ 4p

S0:スペシャルオリンピックス
知的発達障害のある人たちの
スポーツ活動

SON: スペシャルオリンピックス日本

アスリート:スペシャルオリンピックス活動に参加する
知的発達障害のある人たち

ファミリー:アスリートの家族

コーチ:アスリートとともにスポーツを楽しむ人たち

ALPs(アルプス):アスリートの参加機会を増やすためのトレーニングプログラム

発行/スペシャルオリンピックス日本・愛知 (SO愛知・SON愛知)

〒467-0827
名古屋市瑞穂区下坂町1-33 ミヅホビル3D
TEL: 052-882-5150
FAX: 052-882-5160
メールアドレス: soaichi@sage.ocn.ne.jp
ホームページURL: <http://homepage2.nifty.com/sona/>

購読料: 1か月100円 (会員の購読料は会費に含まれています) 通巻第113号 2009. 5. 27 発行

スペシャルオリンピックス日本・愛知 この1ヶ月の動き

水泳プログラム訪問記

5月3日（日）AM10:00～12:00 水泳とアスリートが大好きという野口ヘッドコーチのもと、緑区のコパンにて行われている水泳プログラムを訪問した。今迄デンソーの西尾製作所内プールで行っている水泳プログラム一ヶ所だったが今回名古屋市内で再度水泳プログラムが復活して2ヶ所で水泳プログラムが始まった。

10年前S0日本・愛知の第1回水泳プログラムが名東区にある名古屋市障害者スポーツセンターで始まったことを思い起こし、感慨深いものがある。何よりも名古屋市内のアスリートが参加し易い。「水は母なるゆりかご」と言うが、2回目の水泳プログラムでコーチに安心して身をまかせているアスリートの姿を見ると皆すてきな笑顔、こちらも楽しくなる。コーチも「大変だけど楽しい」と言う。



初めてS0日本・愛知に入ってプログラムに参加するファミリーからは、「アスリート」という呼び方がとても新鮮に感じたと言われる。またいつもプログラムに参加しているファミリーからは、個人競技参加は始めてなので自分の力を精一杯出して頑張りたいという声も聞かれた。アスリートの「とっても楽しかった」との声を残し帰って行く姿がさすががしかった。

アスリートとは；

スペシャルオリンピックスのスポーツ活動に参加する知的発達障害のある人を、尊敬の念を持って「アスリート」と呼んでいます。知的発達障害のある6歳以上の人ならば、誰でもスペシャルオリンピックスのアスリートとして参加することができます。

スペシャルオリンピックスは、トレーニングプログラムに参加するアスリートはもちろん見学するファミリーは家庭の絆が強くなり地域社会も参加、見学により知的発達障害のある人を理解し尊敬し受け入れるという効果があると信じています。何よりもアスリートがプログラムに一生懸命取り組んでいる姿はまわりの人に感動すら与えます。

（広報：B）

井形昭弘名誉会長の半生が新聞連載！

● 井形昭弘名誉会長の半生が新聞連載！ ●

読賣新聞のコラム、「時代の証言者」をご存知でしょうか？時代を代表する大先輩がたの、様々な出会いやご経験を、25日間に亘って連載紹介する、人気の読み物です。

現在は、田辺聖子さんが紹介されていますが、6月8日からの25日間は、前スペシャルオリンピックス日本・愛知会長（現名誉会長）の井形昭弘先生が登場します。イタイイタイ病、水俣病、厚生省の医道審議会会長など、私達と出会う前の先生のご活躍の様子とともに、スペシャルオリンピックスとの出会いも紹介されるそうです。どうぞ、お楽しみに！

フロアホッケー競技会報告

～ チームワークナンバーワン！ ～

4月25・26日、東海・北信越ブロック・フロアホッケー競技会が、長野市・ホワイトリングで開催されました。私たちは、アスリート15名、コーチ4名、団長1名、20名の選手団で参加しました。名古屋駅で集合して、JR特急‘しなの’での移動でしたが、移動中もみんな、落ちついていました。また、競技会中でも、スケジュールが、時間の余裕がなくて、アスリートたちには、負担を掛けてしまいましたが、みんな、スムーズに動いていました。さすが、愛知のアスリートだと、自画自賛！ 昨年の、ナショナルゲーム・山形大会の時より、競技面・生活面・チームワーク等、全ての面で、一段とレベルアップしていました。その姿を見ていて、清々しい気持ちになりました。

このように、アスリートたちが、レベルアップ出来ているのは、やはり、アスリートたちの、日々の努力、自覚、ファミリーのサポート、また、コーチたちの、日常プログラムでのサポートの積み重ねがあったからだと思います。ゲームでは、一戦一戦チームワークがアップしていきました。銀メダルを胸に、みんな輝いてました。

今回は、感動が色々な場面で、有って有意義な競技会でした。SON・長野の競技会実行委員会の皆さんには、このような、機会を頂いて感謝しています。また、今回も、色々なサポートをして頂いたファミリーのみなさんには、大変感謝しています。また、応援団の応援は、ナンバーワンでした。有難うございました。愛知のアスリート、コーチ、応援団のチームワークはナンバーワンでした！

(SON愛知 団長：八塚奈保子)



アスリート報告：

ぼくは東海・北信越ブロックフロアホッケー競技会に出ました。長野のホワイトリングでやりました。こんどはディビジョン2になったのでつよいチームとやりました。よせんは長野Aと富山にはまけたけど長野Dにはかちました。

決勝はさいしょは富山とやりました。ホワイトシャークスはみんなでいっしょうけんめいにディフェンスをしてかつことができました。

1位2位決定戦では静岡とやりました。すごい強いチームではじまってからすぐに4点もいれられました。ぼくはすごくくやしかったのでがんばってシュートをきめました。ぼくはこの大会ではじめてシュートを決めたのですごくうれしかったです。みんなで静岡とがんばって戦ったけどまけて、銀メダルでした。でもとても楽しかったです。またしあいをしに行きたいです。長野のボランティアさんほんとうにありがとうございました。(SON愛知ホワイトシャークス：河辺大輔)

ファミリー観戦記：

4月25日 初日の予選ディビジョンでは、アスリート、コーチとも緊張していたのかもしれませんが、いつもの元気がなく、どうなることかとファミリーとして心配していました。それでも、ファミリーはアスリートの活躍に対して、大きな拍手と、声援を送りました。思えば、長野大会、金沢大会、山形大会、そして今回二度目の長野大会と試合を向かえアスリート達の成長は、はかりしれないものだと、感じていました。しかし、初日の対戦は少し、後戻りしてしまった感があり、ファミリー同士寂しい思いをもちました。ところが、二日目の決勝メダルトーナメントでは、まるでチームが変わってしまったようなすばらしい、プレーが続出。何よりも アスリート、コーチ、ファミリーがひとつになったの試合。ファミリーの中では、眼に涙をうかべながら、応援。アスリートは仲間のプレー中に大きな声での声援。コーチも観戦席まで届くような、大きな声でのアスリートへの指示。金メダルは惜しくも逃したものの ホワイトシャークスの成長は、やはり『無限』なのでしょう。『胸に輝く栄光の銀メダル』と 『すばらしい感動』を、応援を含め参加者全員に頂きました。最後に、団長、コーチ、スタッフの皆様、お世話をおかけし、ファミリー代表として厚く御礼申し上げます。

(フロアホッケーファミリー：志水)

SO愛知事務局からのお知らせ

テーブルマナー教室へのお誘い

今年もノンスポーツプログラムとして、大好評だったテーブルマナー教室を企画しました。ユーモアあふれるお話で理解しやすく、豪華なお食事で楽しいひと時を楽しみましょう！ボランティアの方、中学生以上のアスリート及びファミリーの方々の、ご参加をお待ちしております。（詳細別添用紙）

日時：7月26日（日）12：00～
会場：ローズコートホテル
会費：一人 3000円

ボランティア募集のお知らせ

※この件は、スペシャルオリンピックスの活動とは直接関係ありません。

アジアユースパラゲームズボランティア募集のお知らせ

この大会にはアジア域内の30カ国から、選手・役員あわせて約1,000人が集まります。出場選手は未来のパラリンピック出場を夢見る14歳～19歳のジュニア・アスリートたちです。そしてその多くの選手たちにとって、この大会は初めての国際舞台デビューの機会となります。

この大会に出場するアスリートたちは、それぞれの国でそれぞれの身体機能をみがきあげ、海を越えてやってきます。その成果を最大限に発揮できるような大会環境を用意したいとわたしたちは考えています。

ご協力のほど、よろしくお願ひします。

なお、この大会と今回のボランティア募集についての詳しい情報は、「東京2009アジアユースパラゲームズ・ボランティア」サイト <http://www.tokyo2009v.jp/> に掲載しております。あわせてご覧ください。

運営委員会報告(4月期)

2009年4月度運営委員会報告（4/17）

《4月度》報告事項

- ☆テーブルマナー教室7/26(日)12時～ローズコートホテルにて開催予定 スペシャルサウンスパティ12/5(土)12時～開催予定(ファミリー委)
 - ☆3/29(日)名古屋市荒子川公園にてA委主催「お花見&清掃活動」23名参加(アスリート委)
 - ☆「イッ幸せの黄色いレシートキャンペーン」寄付報告(財務委)
 - ☆7/5(日)「ボラみ展in愛知淑徳大学CCC」ブース出展申込、V委主導・広報委協力のもと準備進める(ボランティア委)
 - ☆愛知のホームページ作成の進行状況について 携帯サイト6/上オープン予定(広報委)
 - ☆7/20(祝)関東・東海北信越ブロックボウリング競技会予定 9/20-22SON・東京創立15周年記念バスケット競技会予定 SON2009年度地区競技会推進支援金¥200,000交付(SP委)
- 協議審議事項
- ☆9/4-6開催予定の2009イベント「愛フェス1 fes」(愛・地球博記念公園)に参加することを決定☆ホームページ等の活用、説明会の開催などで積極的にボランティア募集する
 - ☆今後の日程(予定)5月度5月18日(月)6月度6月15日(月)

ご協力ありがとうございます(受付順)

刈谷ロータリークラブ様	11万円	寄付		
松山のぼる後援会様	親睦ゴルフコンペ18万8千円	寄付		
ホシザキ電機株式会社様	100万円	寄付		
(株)デンソーユニティサービス様	マッチングギフト	3千円	寄付	
SO日本様	20万円	助成金		
アイシン精機株式会社様	お茶500ml	72本	寄贈	
デイリーヤマザキ豊田陣田店様	お菓子		寄贈	

新入会員ありがとうございます(敬称略)

村橋泰志	西田 心	西田弦希	山田陽子
NPO法人ほがらか	株式会社大京化学	株式会社中京アドサイン	